

取扱説明書

ZETA RACING アドベンチャーウィンドシールド モンキー 125 '22-

この度はZETA RACING商品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
組み付け作業をされる前に、下記の内容をよくご覧になり、作業を行ってください。

1.注意事項

- ・製品に対し、加工、改造を行わないでください。
- ・既に車両に装着されている純正部品外のパーツにより、製品と干渉し使用できない場合があります。
- ・本製品は純正ハンドルバー専用です。

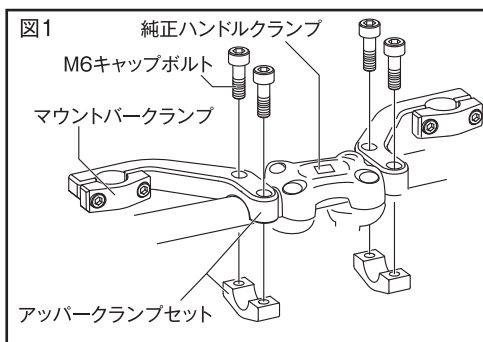
2.取付け方法

- 1) 純正ハンドルクランプの外側に本製品のアッパークランプセットとマウントパークランプを仮組みします。(図1)

※既にアーマーガードが装着されている場合、アーマーガードのマウント位置を調整する必要がある場合があります。

- 2) ワイヤー、ブレーキホースなどの取り回し見本図(図2)を参考にし、アッパークランプの取付け角度を調整してください。

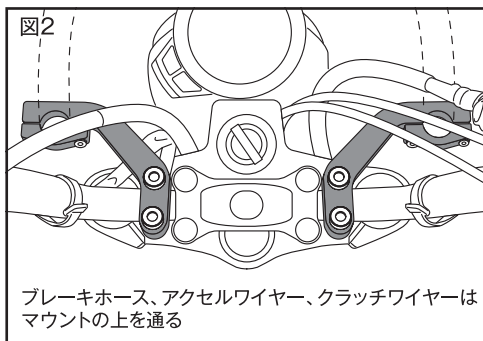
※取り回しが変更されていたり、クラッチワイヤーが劣化しているとレバーフィーリングが悪くなる場合があります。ワイヤーをメンテナンスまたは新品に交換することで改善する場合があります。



⚠【ご注意】

純正ハンドル/純正レバーポジションを取付け基準としています。ポジションを変更している場合、ワイヤー類、ブレーキホースなどに強く干渉し、取付け又は捜査に支障が出る場合があります。以下の調整が必要です。

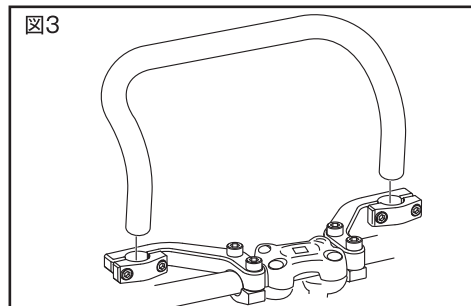
- ・レバーポジションの角度、位置を調整
※レバーポジションに合わせワイヤーの取り回しを工夫してください。
- ・ハンドルの角度を調整



ブレーキホース、アクセルワイヤー、クラッチワイヤーはマウントの上を通る

3) アップークランプにマウントバーを仮組みします。(図3) マウントバーが入りにくい場合、アップークランプおよびマウントバーの取付けボルトを緩めてから取付けてください。

4) アップークランプとマウントバーを本締めします。



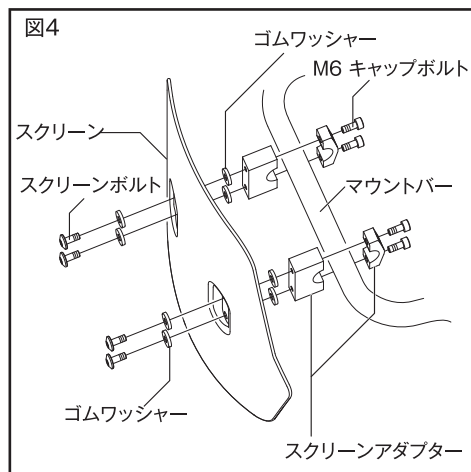
5) ハンドルをゆっくりと左右に切り、スロットルがスムーズに回転するか、各ワイヤー・ホースに負荷を与えてハンドル操作に支障が無いか確認します。

6) マウントバーにスクリーンアダプター、スクリーンを取付けます。(図4)

7) ハンドルをゆっくりと左右に切り、スクリーンが車両に干渉していないか確認してください。

8) スクリーンを取付けるとハンドルフィーリングが変化します。必ず試走行をし、視界の確認及び各部のガタつき、ボルトの締め忘れ等が無いことを確認してください。

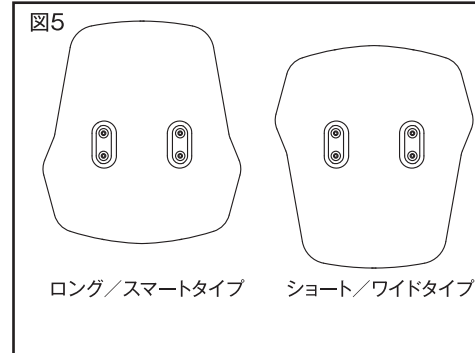
- ・スクリーンボルト等に緩みが無いかを定期的に点検してください。
- ・ZETA RACING アーマーガードシリーズの取付けが可能です。



3.スクリーンの仕様／注意事項

■ 2通りのデザイン

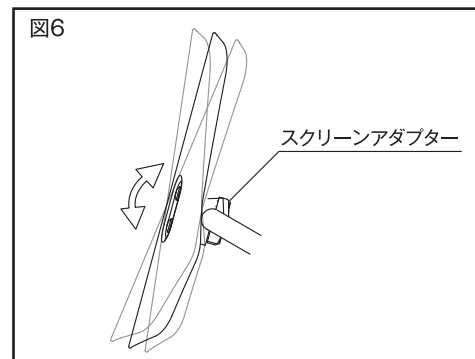
使用状況、好みに合わせ2通りの取付けが選択可能です(図5)。



■ 角度/高さ調整 ※車両により調整幅が異なります。

- ・スクリーンアダプターを緩めることにより簡単に角度を調整することができます(図6)。
- ・マウントバーを緩めることにより簡単に高さを微調整することができます。

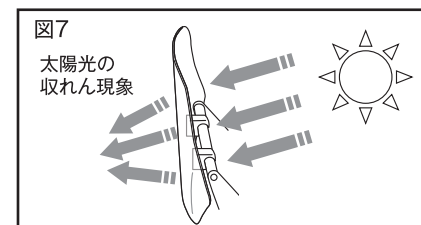
※ワイヤー、ブレーキホースに干渉し高さ調整ができない場合があります。



■ 特記注意事項

△【ご注意】

スクリーン装着後、車体後方よりスクリーン部の内側に太陽光が直接あたる状態での駐停車は厳禁です。太陽光の収れん現象(図7)により発生した不具合や事故損害につきましてはいかなる場合でも当社では一切責任を負いません。



■ メンテナンス

- ・スクリーンを洗浄する時は、表面を傷付けないように、水又は、ぬるま湯をかけながら、柔らかい布又はスポンジで拭いてください。
- ・破損や傷、劣化により視認性が悪くなった場合、速やかに交換してください。

リプレイスメントスクリーン
F6169 (ZE70-1900)

4.マウントバー

・スマートフォンホルダー、ナビホルダー等を取付ける場合、ブレーキホースの動きに干渉しない位置に取付けてください。

※ブレーキホースの干渉より、機器を中央に取付けられない車両があります。

・マウントバーに機器を装着した場合、配線処理に付属のリリースタイラップ(2本付属)を利用してください。

株式会社 ダートフリーク

〒489-0005 愛知県瀬戸市中水野町2-30